



# ソフトウェアアップグレードワークフロー

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	説明
ソフトウェアアップグレードワークフロー	Cisco IOS XE リリース 17.8.1a Cisco vManage リリース 20.8.1 Cisco SD-WAN リリース 20.8.1	この機能により、Cisco IOS XE SD-WAN デバイス および Cisco vEdge デバイスのソフトウェアイメージをアップグレードし、ソフトウェアアップグレードのステータスを監視するためのガイド付きワークフローが導入されます。  このワークフローでは、新しいソフトウェアイメージのダウンロード、インストール、およびアクティブ化を個別に実行することも、一括で実行することもできます。
ソフトウェアアップグレードワークフローのスケジュール	Cisco IOS XE リリース 17.9.1a Cisco vManage リリース 20.9.1 Cisco SD-WAN リリース 20.9.1	この機能には、Cisco vManage を使用してエッジデバイスのソフトウェアアップグレードをスケジュールするオプションが導入されています。
追加プラットフォームのソフトウェアアップグレードワークフローのサポート	Cisco vManage リリース 20.9.1	Cisco Enterprise NFV インフラストラクチャ ソフトウェア (NFVIS) および Cisco Catalyst セルラーゲートウェイのサポートが追加されました。

- [ソフトウェアアップグレードワークフローについて \(2 ページ\)](#)
- [ソフトウェアアップグレードワークフローのサポート対象デバイス \(2 ページ\)](#)

- [ソフトウェアアップグレードワークフロー使用の前提条件](#) (3 ページ)
- [ソフトウェアアップグレードワークフローへのアクセス](#) (3 ページ)
- [ソフトウェアアップグレードワークフローのスケジュール](#) (5 ページ)
- [スケジュールしたソフトウェアアップグレードワークフローのキャンセル](#) (6 ページ)
- [ダウンロードしたソフトウェアイメージの削除](#) (6 ページ)

## ソフトウェアアップグレードワークフローについて

ソフトウェアアップグレードワークフローを使用すると、サポート対象の各種シスコデバイスでソフトウェアイメージをダウンロードしてアップグレードできます。また、アップグレードプロセスを適時スケジュールするオプションもあります。ワークフローには、ソフトウェアアップグレードのステータスも示されます。このワークフローには、ソフトウェアアップグレードを実行するための2つのオプションが用意されています。**ダウンロードとアップグレード**、および**ダウンロードのみ**です。

## ソフトウェアアップグレードワークフローのメリット

- ソフトウェアアップグレードワークフローは、デバイスアップグレードのステータスを表示することで、デバイスソフトウェアのアップグレード時のさまざまなエラーを防ぐのに役立ちます。たとえば、アップグレードプロセスの特定の段階でエラーが発生した場合、ワークフローでは**エラー**のフラグが立てられます。
- このワークフローでは、新しいソフトウェアイメージのダウンロード、インストール、およびアクティブ化を個別に実行することも、一括で実行することもできます。また、ワークフローを随時スケジュールすることもできます。

## ソフトウェアアップグレードワークフローのサポート対象デバイス

デバイス	サポート対象の最小リリース	注
Cisco IOS XE SD-WAN デバイスについて	Cisco vManage : Cisco vManage リリース 20.8.1 デバイス : Cisco IOS XE リリース 17.8.1a	Cisco IOS XE リリース 17.9.1a 以降では、ソフトウェアのアップグレードをスケジュールできます。
Cisco vEdge デバイスについて	Cisco vManage : Cisco vManage リリース 20.8.1 デバイス : Cisco SD-WAN リリース 20.8.1	Cisco SD-WAN リリース 20.9.1 以降では、ソフトウェアアップグレードのスケジュール機能を使用できます。

デバイス	サポート対象の最小リリース	注
Cisco Catalyst 8200 uCPE シリーズ エッジプラットフォーム	Cisco vManage : Cisco vManage リリース 20.9.1 デバイス : Cisco IOS XE リリース 17.9.1a	なし
Cisco 5400 シリーズ エンタープライズ ネットワーク コンピューティング システム (ENCS)	Cisco vManage : Cisco vManage リリース 20.9.1 デバイス : Cisco IOS XE リリース 17.9.1a	なし
Cisco Catalyst セルラーゲートウェイ	Cisco vManage : Cisco vManage リリース 20.9.1 デバイス : Cisco IOS CG リリース 17.9.1	ソフトウェアアップグレードのスケジュール機能は使用できません。

## ソフトウェアアップグレードワークフロー使用の前提条件

ソフトウェアアップグレードワークフロー機能を使用するために必要なソフトウェアバージョンがシスコデバイスで実行されていることを確認します。それぞれのデバイス要件については、「[ソフトウェアアップグレードワークフローのサポート対象デバイス \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

## ソフトウェアアップグレードワークフローへのアクセス

### はじめる前に

進行中のソフトウェアアップグレードワークフローがあるかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

Cisco vManage のツールバーから、[Task-list] アイコンをクリックします。Cisco vManage には、すべての実行中タスクのリストと、成功と失敗の合計数が表示されます。

### ソフトウェアアップグレードワークフローへのアクセス

1. Cisco vManage のメニューで[Workflows] > [Workflow Library]を選択します。



---

(注) Cisco vManage リリース 20.8.1 では、[Workflow Library] のタイトルは [Launch Workflows] になります。

---

2. **[Library]** > **[Software Upgrade]** を選択して、新しいソフトウェアアップグレードワークフローを開始します。

または

**[In-progress]** > **[Software Upgrade]** を選択して、進行中のソフトウェアアップグレードワークフローを再開します。

3. 画面の指示に従って、新しいソフトウェアアップグレードワークフローを開始します。



---

(注) [Exit] をクリックして進行中のソフトウェアアップグレードワークフローを終了します。進行中のワークフローを随時再開できます。

---



---

(注) マルチノードクラスタ構成の場合、デバイスのアップグレード中に制御接続が Cisco vManage から別のノードに切り替わると、NetConfセッションタイムアウトが原因でアップグレードが影響を受ける可能性があります。次に、デバイスは別のノードへの制御接続を確立します。アップグレードアクティビティを再度トリガーする必要があります。

---

### ソフトウェアアップグレードワークフローのステータスの確認

ソフトウェアアップグレードワークフローのステータスを確認するには、次の手順を実行します。

1. Cisco vManage のツールバーから [Task-list] アイコンをクリックします。

Cisco vManage には、すべての実行中タスクのリストと、成功と失敗の合計数が表示されます。

2. [+] アイコンをクリックして、タスクの詳細を表示します。

Cisco vManage でペインが開き、タスクのステータスとタスクが実行されたデバイスの詳細が表示されます。

# ソフトウェアアップグレードワークフローのスケジュール

Cisco vManage リリース 20.9.1 で導入されたソフトウェアアップグレードワークフローのスケジューラを使用すると、ワークフローを適時スケジュールし、ソフトウェアアップグレードプロセスによるダウンタイムを回避できます。スケジューラを使用すると、アップグレードワークフローを**今すぐ**または**後で**実行するかをスケジュールできます。後でアップグレードを実行するようにスケジュールする場合は、**開始日**、**開始時刻**、および**タイムゾーン**の選択を入力できます。

## ソフトウェアアップグレードワークフローのスケジュール

次の手順を使用して、ソフトウェアアップグレードワークフローをスケジュールします。

1. Cisco vManage のメニューで **[Workflows]** > **[Workflow Library]** を選択します。

または

Cisco vManage リリース 20.9.1 以降では、**[Workflows]** > **[Popular Workflows]** > **[Software Upgrade]** をクリックします。

2. **[Workflow Library]** > **[Software Upgrade]** を選択して、新しいソフトウェアアップグレードワークフローを開始します。

または

**[In-progress]** > **[Software Upgrade]** を選択して、進行中のソフトウェアアップグレードワークフローを再開します。

3. **[Scheduler]** セクションで、**[Later]** を選択します。



---

(注) 選択したデバイスのソフトウェアアップグレードをすぐに実行するには、**[Now]** オプションを使用します。

---

4. **[Start Date]**、**[Start Time]**、**[Select Timezone]** を選択します。



---

(注) 開始日時は、常に Cisco vManage サーバーの日時よりも後にする必要があります。

---

5. **[Next]** をクリックします。
6. ソフトウェアアップグレードワークフローがスケジュールされています。

## スケジュールしたソフトウェアアップグレードワークフローのキャンセル

スケジュールしたソフトウェアアップグレードワークフローをキャンセルするには、次の手順を実行します。

1. Cisco vManage のメニューから、**[Maintenance]** > **[Software Upgrade]** をクリックします。
2. デバイスのリストから、ソフトウェアアップグレードがスケジュールされているデバイスを選択します。
3. **[Cancel Software Upgrade]** をクリックします。

## ダウンロードしたソフトウェアイメージの削除

Cisco IOS XE SD-WAN デバイス と Cisco vEdge デバイス からダウンロードしたソフトウェアイメージを削除するには、次の手順を実行します。

1. Cisco vManage のメニューから **[Maintenance]** > **[Software Upgrade]** の順に選択します。
2. **[WAN Edge]** をクリックします。
3. **[Delete Downloaded Images]** をクリックします。
4. **[Delete Downloaded Images]** ダイアログボックスで、削除するイメージを選択します。
5. **[Delete]** をクリックします。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。